

演劇事業 共催企画**Fの階「なにごとにもなかったかのように再び始まるまで」関連企画****演劇体験ワークショップ『劇場で台詞を読む / 聴く』**

2019年3月に公演の、Fの階がおおくりする演劇ワークショップ！

台本ってどうやって読むの？ワークショップを通して体験してみませんか？

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターの企画運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、神戸アートビレッジセンターでは、2019年3月に当センターで行う公演、Fの階「なにごとにもなかったかのように再び始まるまで」の関連企画として、演劇体験ワークショップ『劇場で台詞を読む / 聴く』を開催する運びとなりました。

本企画は、演出家の久野那美と本公演の出演者と一緒上演台本を使って、「台詞を読む / 聴く」体験を通し、Fの階の作品創作過程を参加者の皆様と一緒に体験するワークショップになります。実際上演台本と同じものを使って、本番と同じ会場で台詞を読みます。

つきましては、本企画をぜひ貴社媒体にてご紹介頂きたく、情報掲載のご検討を頂けますようお願い申し上げます。

この機会に、本事業の告知にご協力頂けたら幸いです。何とぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具

—
創作とはく変化することだと思っています。自分や世界が変わっていく様を楽しむこと。演劇はそれをいろんな立場のひとが集まって一緒に行います。それが楽しい。そんな演劇の楽しさを知ってもらえるWSにできればと思います。

※講習の後、希望者はFの階の稽古の見学をしていただけます。

久野 那美（匣の階代表 / 劇作家・演出家）

Fの階「なにごとにもなかったかのように再び始まるまで」関連企画 演劇体験ワークショップ『劇場で台詞を読む / 聴く』

日時：2019年1月5日(土)14:00-17:00、1月6日(日)14:00-17:00※1日だけの参加希望の場合はご相談ください。

会場：KAVC シアター

料金：一般 2500 円、学生 2000 円 定員：20 名

対象：演劇の台詞や話し言葉、劇を創る過程に興味のある人。中学生以上であること、演劇経験は問いません。(初心者大歓迎！)

持ち物：動きやすい服装・出し入れしやすい様広く空けた状態の心と身体

講師：久野那美（Fの階代表 / 劇作家・演出家）・Fの階出演者

《プロフィール》

久野 那美 (くの なみ)

劇作家・演出家。公演毎にユニット名(～の階)を更新して演劇活動を行う。現在は匣の階代表。階以外にラジオドラマ(神戸 kiss-FM『story for two』)や大阪市内の劇場プロデュース公演などへ台本を提供。第4回テアトロ・イン・キャビン戯曲賞 佳作入選、第5回 OMS 戯曲賞 佳作入選など受賞多数。

Fの階 公式サイト：<http://floor.d.dooo.jp/f/>

主催：Fの階

共催：神戸アートビレッジセンター

(指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団)



会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター (担当 大泉)

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356